

住民と行政をつないで より良い関係を目指す

「行政相談委員として、国・県などの行政問題に関する住民の皆さんの疑問や要望などを受け付け、行政の担当窓口をご案内しました。ときには、事前に窓口に話をつないだり、相談者に同行したりもしまし

た」と話すのは、平成17年度から本町の行政相談委員を務めた緒方聖次さん。行政相談委員は、地域住民から寄せられる行政サービスへの疑問や行政への要望などの相談を受け付ける民間ボラ

ンティア。行政相談委員法に基づいて、総務大臣が行政運営の改善などへの熱意を有する人を委嘱する。緒方さんは、長年県職員として勤務した。定年退職後間もなく「町からの推薦がきっかけ」で委員になり、国・県・町と住民をつなぐパイプ役として尽力。8年間、住民が毎日の暮らしの中で感じたさまざまな事柄に真摯（しん

し）に向き合い、住民と一緒に頑張って改善に向けて活動してきたことが評価され、今年3月には、総務大臣から感謝状が贈られた。地域住民の相談に応じるとともに、月1回開設される相談所でも対応。「境界・金銭問題など、法律問題も多かったですね。そのような問題は、弁護士さんも一緒に対応します。ほかの市町村ではあまり見られない、甲佐町独自の取り組みです」と緒方さん。委員として心掛けてきたことは、「住民の皆さんが相談しやすいような雰囲気を作ること、住民の視線に立つて相談に応じること」と話す。一方で、「相談したからといって、すぐ解決するような問題ばかりではありません」と委員を務める上での難しさも感じた。それでも、「相談することで、少しでも安心してもらえれば」と思いを語る。任期を終え、「微力ながら行政や住民の皆さんのお役に立てたかな」と笑顔になる緒方さんは、住民と行政のより良い関係を願っている。



緒方 聖次さん

Ogata Seiji

〔糸田区〕

おがた・せいじ / 平成17年から8年間行政相談委員として活動。住民の視線に立つて相談に応じ、住民と行政をつなぐパイプ役として尽力。